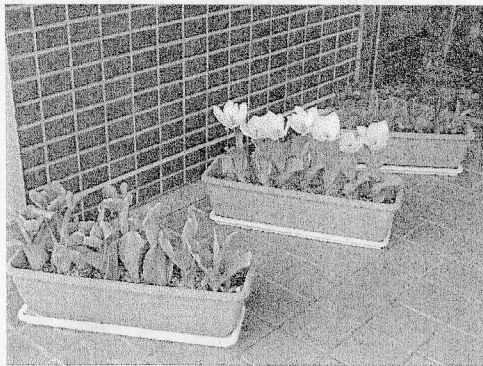


伸びよ若草、頑張れ御野っ子！

ひと雨ごとに暖くなり、中庭には色とりどりのパンジーが咲きそろう、チューリップも一斉にかわいらしく花開き始めました。本来なら柔らかな春の日差しの中、子どもたちは学年のまとめや、クラスの友達と最後の思い出作りをするはずでしたが、今回の新型コロナウイルス感染症への対応により、すべてが突然終わってしまいました。未知の病気によって多くの方が不安を抱えつらい思いをされていることを考えると胸が痛みます。そして、いきなり休校になり学校生活をストップせざるを得なかった子どもたちも、経験のない事態に戸惑い、苦しい日々を送っていることと思います。この状況はだれも予測できないことで、子どもたちをはじめ、すべての人々の命と健康を最優先に、皆で気を付け合い支え合って乗り越えていくしかありません。一日も早い事態の終息を願っています。

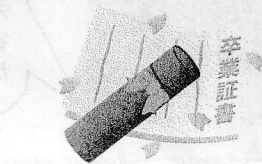
「伸びるよ のびるよ 若草 わかくさ それぞれに」御野小学校校歌の一節です。学校で過ごす日数は減ってしまいましたが、それでも御野っ子たちにはこの学年の思い出をしっかりと胸に刻み、春の光をあびて精一杯伸びていく若草のように成長してほしいと願っています。校歌にもあるように、子どもたちは生命力にあふれた若草のような存在です。一人一人伸びる速さも様子も違って当たり前。でも、確実に日々、成長していきます。お家で過ごす時間が増えた分、心のエネルギーをためて、それぞれの目標をもってこの長いお休みを元気に安全にすごしてくれたらと思います。そして、4月にはそれぞれにひと回り心も体も大きくなった子どもたちに再会できることを楽しみにしています。この一年間、保護者の皆様、地域の皆様には、いつもあたたかいお心で御野小学校を支えていただきましたこと、心より感謝申し上げます。来年度もどうぞよろしく願いいたします。



玄関のプランターにはかわいいチューリップ

立派に巣立っていきました

3月17日(火)卒業式が行われました。今年のご来賓の方をお招きすることもできず、在校生代表の5年生も出席できませんでした。それでも、卒業生98名は保護者の方に見守っていただく中、一人一人が卒業証書を手にして、晴れやかな表情で巣立っていきました。式場はもちろん、廊下や教室にも在校生が心をこめてつくったお祝いの飾り付けが施されました。座席の間を広くするため、例年とは違い、保護者の方と卒業生が対面する形でフロアで証書授与を行いました。練習をしたのはわずか2回ほど、ぶっつけ本番に近い状態でしたが、さすが6年生。立派な態度で式に臨むことができました。小学校の一年間の行事の中で最も厳粛で大きな節目となる卒業式、保護者の皆様にとっても大切な子育ての区切りです。そして、子どもたちをいつもあたたかく見守り支えてくださった地域の皆様のお力もあったからこそこの卒業だと思います。本当にお世話になりました。卒業生の未来がさらに輝きますように。



保護者の方に見守られ、フロア中央で証書を一人ずつ